



主要事業内容

■鉄鋼アルミ

- 薄板製品
- アルミ板
- 線材・条鋼製品
- 厚板製品
- 鉄鋼スラグ製品

■素形材

- 鋳鍛鋼製品
- アルミ鋳鍛
- アルミサスペンション
- チタン
- 建材用チタン
- アルミ押出・加工品
- 銅板条
- 鉄粉製品

■溶接

- 溶接システム
- 溶接材料

■機 械

- 汎用圧縮機
- 回転機（非汎用圧縮機）
- タイヤ・ゴム機械
- 樹脂機械
- 高機能商品
- 圧延設備・プレス機械
- 超高压装置
- エネルギー・化学関連機器

■エンジニアリング

- 製鉄プラント関連
- 原子力プラント・機器
- 都市交通システム
- 水処理
- 廃棄物処理、リサイクル
- 冷却塔
- 化学・食品機械
- エネルギー・化学プラント

■建設機械

■電 力

URL : 神戸製鋼ホームページ 技術・製品情報
<https://www.kobelco.co.jp/products/>

QRコード :



QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

＜特集：KOBELCOのマテリアリティと価値創造を支える21のコア技術＞

*今回、当社グループが特定している価値創造領域の3つのマテリアリティ（重要課題）「グリーン社会への貢献」「安全・安心なまちづくり・ものづくりへの貢献」「人と技術で繋ぐ未来へのソリューション提供」とこれを支える21のコア技術に焦点を当てた特集を組みました。これまでの当社技報では、特定の事業領域や技術領域における当社のアクティビティを紹介してきましたが、本特集では当社グループの特徴である幅広い事業展開を支える多様なコア技術について、その発展の歴史から現状、そして将来へ向けての展望を紹介することで、当社グループの保有する特徴ある技術の全体感を俯瞰（ふかん）してご理解いただける内容になっています。

*まず前半では、当社グループの技術開発に対する歴史的背景やその特徴を俯瞰し、今後の方向性を展望しています。さらに価値創造領域における3つのマテリアリティそれぞれについて当社グループの取組みを技術的な側面から取り上げ、21のコア技術がどのように活用されているのかについて解説しています。

*後半は21のコア技術それぞれについて

その内容を解説していますが、その特徴や強みのみならず、これらがどのような背景のもとに生まれ進化し現在に至ったか、そして将来に向けた可能性も含め、事例も交えながら紹介しています。

*いずれも非常に幅広い内容を限られたページ数で解説させていただいた故、本記事だけでは説明が不十分な面もありますので、より詳細をお知りになりたい場合は本文内で引用している当社技報や学協会論文などの参考文献をご参照ください。

*今後も当社グループは「安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望をかなえられる世界」の実現に向け、マテリアリティに取り組んでいく所存ですが、当社グループのみでは完結できないより大きな社会課題の解決に向けては、お客様との連携もますます重要になってきます。本特集が当社グループの価値創造領域における取り組みや、これを支えるコア技術をご理解いただくための一助となればと考えておりますので、掲載した内容に関してご興味ございましたら、是非ご意見、ご感想をいただけますと幸いです。

（本家浩一）

次号予告

＜特集：DXで目指すKOBELCOらしさ＞

*カーボンニュートラル社会への急激な移行、コロナ禍を契機とした産業構造の変化、高齢化社会による働き手の不足、地政学的リスクの高まりなど、世の中はめまぐるしいスピードで変化するとともに新たな社会課題が顕在化してきており、事業環境は不確実性が増してきています。

*このような事業環境下において、KOBELCOグループが様々なステークホルダの皆様へ新たな価値を時代に先駆けて提供し続けていくためには、グループが保有する多種多様な技術資産、ビジネス資産を、データを基軸に整理しつつ、新たなデジタル技術や業務プロセス、ビジネスプロセスと結合させて変革を図るデジタル・トランスフォーメーション（DX）を進めることが大きな課題の一つとなっています。

*次号特集「DXで目指すKOBELCOらしさ」では、素材系事業、機械系事業、電力事業などKOBELCOグループの幅広い事業領域における「DX」の事例を集めました。この特集では、人材育成からものづくりの変革、社会課題の解決や新たな価値の創造まで多様な「変革」の取り組みを紹介する予定ですが、このような変革の目指す方向の「総体」がこれからの「KOBELCOらしさ」を形作っていくものと考えます。

*本特集号が、当社グループの「DX」事例の紹介にとどまらず、お客様やパートナー、地域社会の皆様や当社従業員など、様々なステークホルダの皆様と、KOBELCOと一緒に目指す「あした」に向けての「かけ合わせ」を考えるきっかけになればと願っています。

（池田英生）

＜編集委員＞

委員長	後藤 有一郎
副委員長	杵 淵 雅 男
委員	池 田 英 生
	佐 成 弘 毅
	杉 立 宏 志
	鈴 木 励 一
	高 久 真 也
	西 口 克 茂
	野 澤 健 太 郎
	本 家 浩 一
	山 下 俊 郎
	横 田 泰 之
	＜五十音順＞
本号特集編集委員	本 家 浩 一

R&D 神戸製鋼技報

第72巻・第2号（通巻第249号）

2024年1月10日発行

年2回発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 後藤有一郎

発行所 株式会社 神戸製鋼所
技術開発本部 企画管理部
〒651-2271
神戸市西区高塚台1丁目5-5

印刷所 福田印刷工業株式会社
〒658-0026
神戸市東灘区魚崎西町4丁目
6番3号

お問合わせ先 コベルコビジネスパートナーズ(株)
R&D神戸製鋼技報事務局
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2-4
(株)神戸製鋼所 神戸本社ビル
FAX(078)261-7843
rd-office@kobelco.com

2024年1月10日

各 位

(株)神戸製鋼所
技術開発本部

「R & D神戸製鋼技報 Vol.72, No.2」お届けの件

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「R & D神戸製鋼技報 Vol.72, No.2」を発行しましたのでお届け致します。
ご笑納のうえご高覧いただきましたら幸甚です。

なお、ご住所・宛先名称などの訂正・変更がございましたら、下の変更届に必要な事項を
ご記入のうえ、FAXあるいはE-mailにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

コベルコビジネスパートナーズ(株)
R&D神戸製鋼技報事務局 行
FAX (078)261-7843
rd-office@kobelco.com

本誌お送り先変更届

	変 更 前	変 更 後
貴社名		
ご所属		
ご住所	〒	〒
宛名シール 番号	No. _____ ←(封筒の宛名シール右下の番号をご記入下さい)	
備 考		
本紙記入者	お名前：	E-mail： TEL：

RE: Delivery of R&D Kobe Steel Engineering Report, Vol.72, No.2

Dear Sir or Madam,

We would like to express our sincere gratitude for your continued support and cooperation.

Attached please find Vol.72, No. 2 of the R&D Kobe Steel Engineering Report.

If there is any correction or change of address, contact name, etc., please fill in the required information in the change notification below and contact us by fax or by e-mail.

Best wishes for your continued success,

Attention:

R&D Office, Kobe Steel Engineering Report

Kobelco Business Partners Co., Ltd.

FAX: +81-78-261-7843

E-mail: rd-office@kobelco.com

Change Notification

	Before change	After change
Company name		
Department		
Address		
Address seal number	No. _____ ← (Please fill in the right lower number on the address sticker)	
Remarks		
Person making this entry	Name :	E-mail :